

水産年鑑

1983/1984

水産社

あ と が き

- ▷…水産業界唯一の総合年鑑として、昭和29年以來刊行を続け、ここに通巻第30集を発行することができました。
- ▷…今次発行にあたり、第29集までの縦組みを改め、横組みを採用し、より読みやすく、利用しやすい新しい装丁となりました。さらに、名簿等可能な限り記述時点を58年6月末としたため、発行の遅れを生じましたが、今後は10月翌年版発行を恒例とし、当年版に限り、58年・59年の合併名称を使わせていただきました。
- ▷…本書においては、内容面で新味を盛り込むには至らなかった点もありますが、次年度版でさらに新企画を実現したいと思います。

水産年鑑

1983・84年版

昭和58年11月1日 印刷

昭和58年11月5日 発行

© 1983

定価 9600 円

(送料 400円)

■ 編 集 水産年鑑編集委員会

■ 発 行 株式会社 水 産 社

■ 発行人 岡 本 信 男

東京都新宿区三栄町8番地

〒160 TEL 03 (353) 8221 (代)

振替 東京 8-53743

■ 印 刷 杉田屋印刷株式会社

東京都千代田区飯田橋 4-9-5



新鮮ステーション

—食品流通機構を支える東海興業の冷蔵倉庫—

産地から消費地に至る生鮮食料品を、新しいまま大量に保管する役割を担う冷蔵倉庫。コールド・チェーンの発達に伴う流通機構の、言わば重要なステーションです。冷蔵倉庫のパイオニアである東海興業は、この施設の建設において他の追随を許さぬ、圧倒的なシェアを誇り、優れた技術力と数多くの実績を示してきました。さらに、低価格・高性能・量産型の画期的な規格型冷凍・低温倉庫を開発して国内外の脚光をあびています。

東海興業株式会社

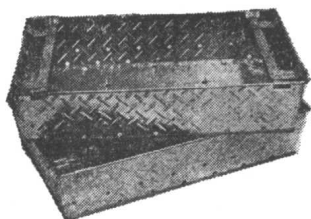
東京都中央区銀座7-13-10 TEL 03 (545) 5111
支店 ■ 東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・横浜・福岡

食品凍結・加工に、鮮魚輸送に

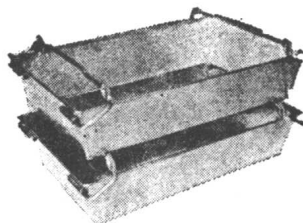
日函の

鋼製, ステンレス, アルミ, 樹脂製容器を

鮮魚輸送函
(KT1B)



エアブラスト用凍結パン
(T1B-H)



水揚げかご
(万丈かご)



日本魚函サービス株式会社

東京都中央区日本橋本石町1-4 東洋経済ビル 電話03(270)9961(大代)

支店 北海道(札幌)、東北(塩釜)、東京、大阪、九州(福岡)

営業所 釧路、函館、八戸、盛岡、水戸、静岡、名古屋、高松、境港、
広島、下関、長崎、鹿児島

NISSIN

海に陸に活躍する！
冷凍・空調・公害防止機器プラントの総合メーカー

技術が時代を創る レイトウキ・ニッシン

来るべき高度技術時代へ
レイトウキニッシンは
過去35年の
豊富な実績と経験をふまえ
新しい技術のステップを
一步一步
着実に進みます。



輝かしい未来を約束する！

NISSIN

日新興業
株式會社

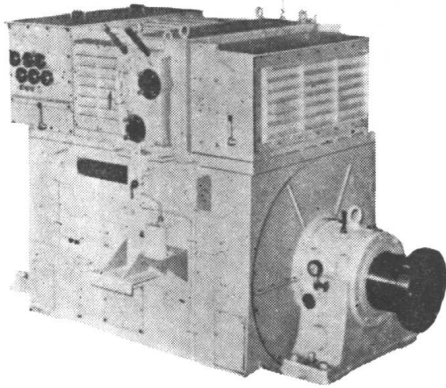
本 社 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日ビル 電話06-202-0121(代 表)
大阪支店 大阪市淀川区三国本町1丁目12番30号 電話06-394-1171(大代表)
東京支店 東京都中央区銀座6丁目6番7号 朝日ビル 電話03-571-7607(代 表)
清水支店 静岡県清水市三保751番地 電話0543-34-0131(代 表)

出張所・サービスステーション

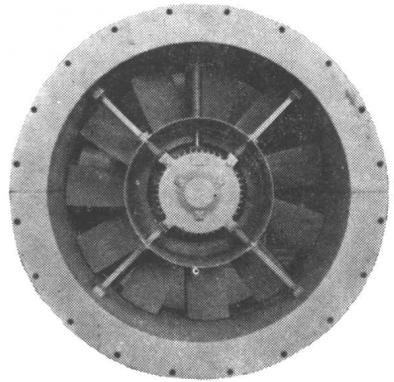
稚内 根室 釧路 札幌 室蘭 函館 大畑 八戸 釜石 気仙沼 石巻 塩釜
新潟 小木 三崎 西伊豆 焼津 伊勢 尾鷲 勝浦 室戸 高知 讃岐
今治 尾道 境港 下関 福岡 長崎 臼杵 宮崎 鹿児島 串木野 枕崎

ながい経験と最新の技術

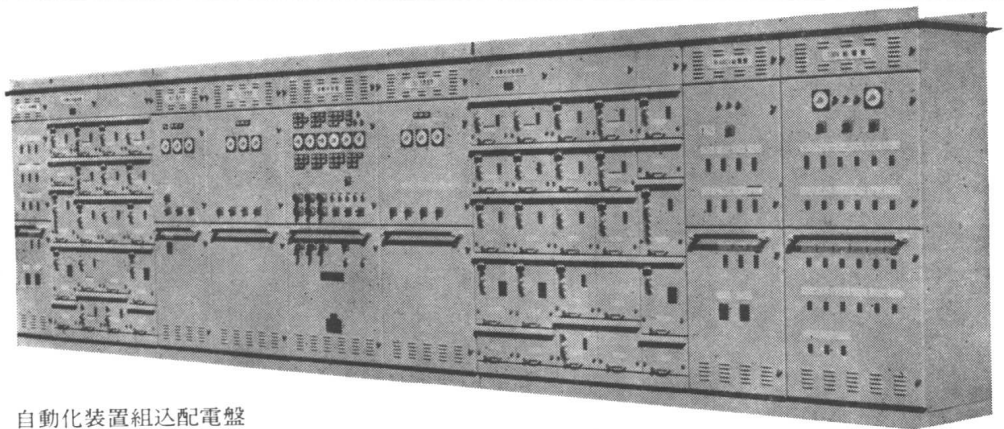
大洋の漁船用電気機器



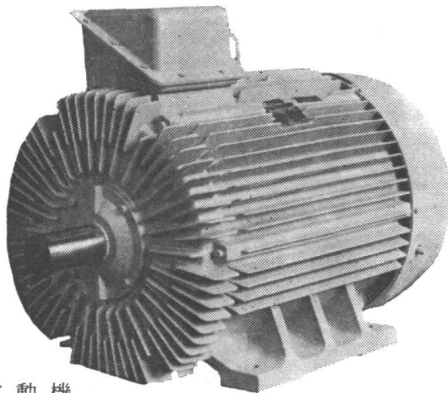
BW₁型発電機



低騒音通風機



自動化装置組込配電盤



電動機

- 発電機
- 電動機
- 配電盤
- 自動化電源装置
- 送風機
- モーターポンプ



大洋電機株式会社

大洋電機販売株式会社

本社 東京都千代田区神田錦町3-16 電話03-291-5916(代)

世界の海で活躍する信頼のブランド

KODEN



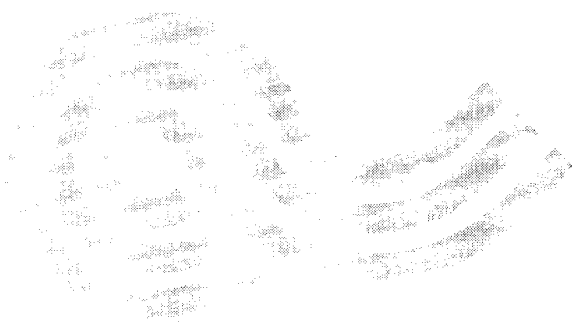
- 航法装置 ●漁撈計器 ●無線通信装置
- 情報システム装置 ●産業用電子機器

株式会社 光電製作所

〒141 東京都品川区上大崎2-10-45 ☎(03)441-1131

水産年鑑

1983/1984



J0201054

水産社

▷はじめに◁

水産業界唯一の総合年鑑である水産年鑑・昭和58/59年版をお届け致します。本書は昭和29年に第1集を刊行以来毎年発行を重ね、ここに第30集を迎えることとなりました。今次刊行に当たり、これまでの縦組み装丁を思い切って改め、横組み装丁を採用することにより、さらに読みやすく、利用しやすい年鑑に一新致しました。

また、第30集を機に発行体制を毎年10月末刊行とすることによって57年の事項を中心に58年の事項をも可能な限り記述し、さらに人事等名簿関係は原則として58年6月末現在で調査してあります。発行年度は翌年表示を恒例としますが、今次版に限り58年・59年の合併表示を使わせていただきました。業界関係会社、団体の総会時期を考慮してのものであり、本文記事の継続性は保つよう編集してあります。内容面の充実等今後とも努力致す所存であり、業界の皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。

—水産年鑑の見方—

▷本年鑑は昭和57年(1~12月)の事項を中心としているが、農林水産省等の公式統計資料公表の関係もあって、一部事項は56年度のものを使用した。

▷統計資料はできる限り時期・単位・資料等の出所を明記し、統計表は主として過去3年間のものを使用した。

▷会社・団体などの固有名詞が同一文章内に2回以上出する場合や一般的

な略称で知られているものは略称を使用した。例えば大洋漁業は大洋、全国漁業協同組合連合会は全漁連のごとくである。また個人の敬称はすべて省略した。

▷年号のうち明治、大正は明記したが、昭和はとくに必要な場合を除き省略した。

▷略称は、(株)=株式会社、(合)=合資会社、(有)=合名会社、(有)=有限会社、漁協=漁業協同組合などである。

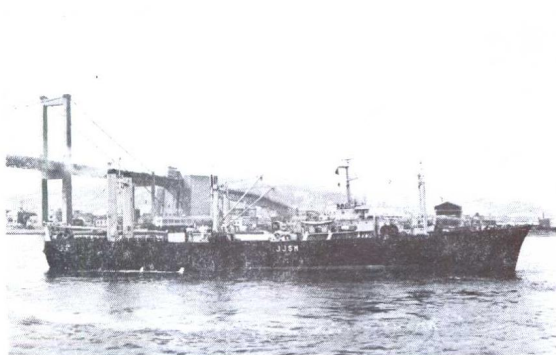
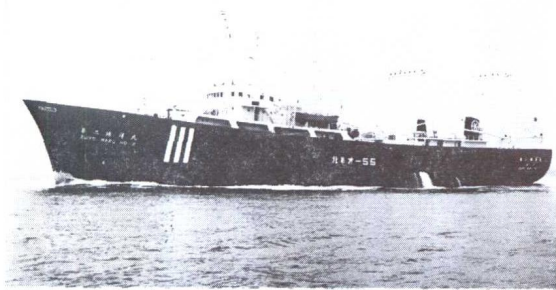


☛ 日米漁業関係に新たな展開・対日漁獲割当遅延に抗議して開催された日米漁業危機突破漁民大会（4.20三会堂石垣ホール）

☛ 日米JVスケトウダラ洋上買付事業を実施した大洋漁業第2瑞洋丸（上）と日本水産金剛丸（下）

写真で顧みる

□ 1 9 8 2 □



☛ 日ソ・ソ日漁業交渉が東京で開催し割当量は前年同、日本水域一部開放で妥結（12. 6 閉開式）



MMJ-1991



❑ 大日本水産会創立100年記念式典
(2.13 東京・ホテルオークラ)

❑ 式典後のパーティーで鈴木首相を
囲み懇談する政・業界首脳



❑ 全漁連は57年度通常総会で常勤役員
を刷新(5.28 農協ビル)

❑ 日鮭連創立25周年記念式典(10.22
東京・ヒルトンホテル)



❑ 第34回全国漁港大会(11.16東京
日比谷公会堂)



❑ 第35回北部太平洋まき網大会
(6.17水戸市)

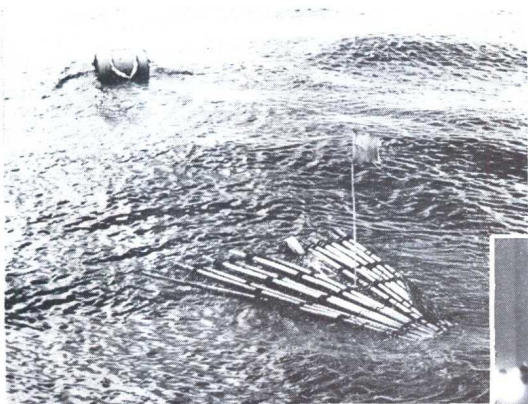




昭和57年度 全国豊

ふるさとの海

第2回豊かな海づくり大会は皇太子殿下ご夫妻をお迎えて兵庫県香住町で行われた (7.27)



海外まき網の周年操業化とともに大いに注目を集めたカツオ外洋集魚装置バヤオ

南米の新魚種ペヘレイを日本で普及させるために日本ペヘレイ開発研究会が設置された(6.21)

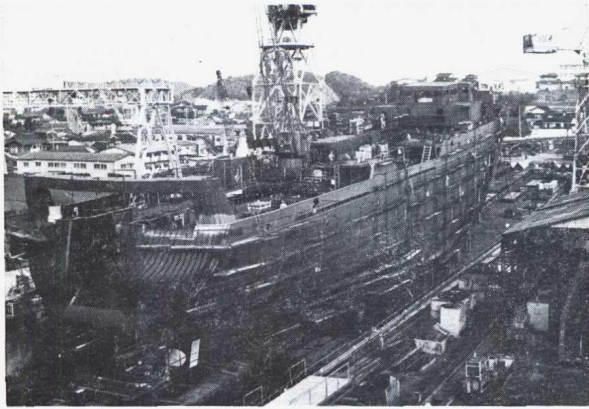


第11回海洋水産資源開発魚種展示試食会(10.27 サンシャイン文化センター)



銀座でのりの日キャンペーンを開催(2.6)





⬆ 大洋漁業の3000トン級大型トロール船シリーズ第1船地洋丸が下関林兼造船で起工(12.21)

⬆ 極洋の海外まき網船第4船となる第7わかば丸が竣工(1.-)



美人は魚でつくられる。

4

◎日本水産

シーフードNOWニッスイ

シーフードNOWニッスイ

お魚好きもこの笑顔も、お母さんからもらいました。

「輸入えび20年史」100名と語る昔、今、未来、あした出版記念

1ST SHRIMP FESTIVAL

⬆ 日本水産の企業キャンペーン「シーフードNOWニッスイ」が57年度日本新聞協会新聞広告賞本賞を受賞した(10.20)

⬆ 第1回えび祭りが開催(6.25銀座東急ホテル)



食べていますか...



栄養豊かなサバ・イワシ

社団法人 全国まき網漁業協会

- 全まき協が作制したサバ・イワシ普及ポスター



- 大水・おさかな普及協主催「子供がよるおさかなオリジナル料理コンクール」全国大会が開催された(10.1三笠会館)



- 日魯漁業の冷蔵おべんとうシリーズを新発売

57年の新設市場

- 岡山市中央市場完成 (開場は58.2)

- 川崎市北部市場 (6.21)





日本冷蔵盛岡工場が完成
冷凍能力は8650トン



ヤンマーディゼル創業70周年
記念に建設された山岡メモリアル
ビル竣工(10.8)



日朝漁業協定再開を求めて全国
漁業者大会が開催(12.9農協ビル)



日豪漁業協定マグロはえなわ
補促協定に署名、11月1日発
効した。

目次

グラビア 写真で顧みる1982… 4
 主要日誌 昭和57年1～12月… 13

第1部 総説

第1章 政治・経済と業界

- 1 世界の政治経済…………… 27
 2 日本の政治経済…………… 27
 3 年の水産業界…………… 29

第2章 国会・法令・予算

- 1 国会…………… 29
 (1) 第96通常国会
 (2) 第97臨時国会
 2 予算と重点施策…………… 32
 (1) 57年度補正予算
 (2) 58年度水産予算

第3章 世界の水産業

- 1 漁業生産の動向…………… 35
 (1) 経済圏別生産量
 (2) 主要国別生産量
 (3) 水域別生産量
 (4) 魚種別生産量
 2 水産物利用の動向…………… 39
 3 水産物貿易の動向…………… 40

第4章 国際漁業交渉

- 1 アメリカ…………… 41
 (1) 新協定の締結
 (2) 58年度漁獲割当
 (3) 入漁料の改訂
 2 ソ連…………… 51
 (1) 日ソ漁業委員会
 (2) 日ソ・ソ日交渉
 (3) サケ・マス交渉
 (4) 協力事業
 (5) コンブ交渉
 (6) 共同事業の実施
 3 その他諸国…………… 54
 (1) 韓国
 (2) 中国

- (3) オーストラリア
 (4) ニュージーランド
 (5) ナウル協定関連諸国
 (6) その方南方諸国
 4 国際漁業機関…………… 57
 (1) 海洋法会議
 (2) 日米加漁業委
 (3) 全米熱帯マグロ委
 (4) 大西洋マグロ委
 (5) 南東大西洋漁業委
 (6) 国際捕鯨委

第2部 漁業生産の概要

第1章 漁業生産の概要

- 1 部門部生産量…………… 61
 (1) 遠洋漁業
 (2) 沖合漁業
 (3) 沿岸漁業
 (4) 内水面漁業
 (5) 捕鯨業
 2 漁業種類別生産量…………… 63
 3 魚種別漁獲量…………… 63
 4 都道府県別生産量…………… 64
 5 漁業生産額…………… 65

第2章 主要漁業の動向

- 1 指定漁業の概要…………… 66
 2 カツオ・マグロ漁業…………… 67
 (1) 概況
 (2) 許認可の概要
 (3) 漁獲量
 (4) 流通
 (5) 経営の動向
 3 サケ・マス漁業…………… 79
 (1) 母船式
 (2) 基地漁業
 4 捕鯨業…………… 81
 (1) 捕獲枠の決定
 (2) 南氷洋

- (3) 北太平洋
 5 北洋底魚漁業…………… 84
 (1) 洋上買付事業の実施
 (2) 母船式底びき網
 (3) 北方トロール
 (4) 転換トロール
 (5) 北転船
 (6) 北洋はえなわ・さし網
 6 南方トロール…………… 87
 (1) 操業区域と許可隻数
 (2) 漁獲量と操業状況
 7 エビトロール…………… 90
 (1) 概況
 (2) 操業実態と課題
 8 以西底びき網漁業…………… 92
 (1) 概況
 (2) 問題点
 9 沖合底びき網漁業…………… 94
 (1) 概況
 (2) 現況
 (3) 問題点
 (4) 日本海ズワイガニ
 10 まき網漁業…………… 96
 (1) 概況
 (2) 現況と問題点
 (3) 海外まき網漁業
 11 サンマ漁業…………… 98
 (1) 概況
 (2) 生産状況
 12 イカ漁業…………… 99
 (1) 釣り漁業
 (2) 流し網漁業
 第3章 沿岸漁業と増養殖
 1 沿岸漁業…………… 100
 (1) 概況
 (2) 漁業権制度
 (3) 知事許可漁業
 2 海面増養殖…………… 103
 (1) 概況

(2) 魚類・水産動物	(4) 漁船乗組船主保険	(1) 関係規則の改正
(3) 貝類	(5) 漁船積荷保険	(2) 海洋汚染防止
(4) 海草類	(6) その他	(4) 省エネ対策
(5) 真珠養殖	(7) 漁業再保険	
第4章 内水面漁業	4 共済事業…………… 153	
1 生産の概要…………… 106	(1) 漁業共済	
(1) 漁業	(2) 任意共済	
(2) 養殖業	第8章 漁港と漁場整備	
2 養鰻経営の問題点…………… 107	1 漁港…………… 156	
(1) 問題点	(1) 漁港行政の概況	
(2) 共販体制の課題	(2) 指定漁港の現況	
3 販売体制の充実…………… 108	(3) 57年度の実施状況	
第5章 階層別の漁業経営	2 沿岸漁場整備…………… 158	
1 海面漁業漁家…………… 117	(1) 概況	
(1) 漁船漁業漁家	(2) 事業別の動向	
(2) 海面養殖業漁家	3 沿岸構造改善事業…………… 159	
2 中小漁業…………… 120	4 栽培漁業……………	
(1) 漁船漁業の経営	(1) 栽培漁業の概況	
(2) 大型定置網の漁業経営	(2) 技術開発と調査研究… 160	
(3) 主要漁業収支状況	第9章 漁船とその設備	
3 大規模漁業…………… 123	1 漁船建造の動向…………… 162	
第6章 海外漁業と開洋開発	(1) 概要	
1 海外合弁事業…………… 125	(2) 主要業種の建造許可	
(1) 57年度の概要	(3) 漁船の竣工状況	
(2) 一般動向と問題点	(4) 漁船輸出の動向	
2 海外協力事業…………… 127	2 漁船技術の動向…………… 167	
資料 水産業資本協力事業	(1) 底びき網漁船	
の現地法人一覧…………… 128	(2) カツオ・マグロ漁船	
3 開洋開発…………… 143	(3) まき網漁船	
(1) 開発基礎調査	(4) サケ・マス流し網	
(2) 資源開発調査	(5) その他の漁船	
(6) 官公庁船		
第7章 金融と保険・共済	3 推進機関…………… 170	
1 漁業金融…………… 145	(1) 種類別の推移	
(1) 一般的動向	(2) 中高速歯車減速機関	
(2) 金融機関別の状況	(3) 低速機関	
(3) 制度資金の状況	(4) 小型高速機関	
(4) 沿岸改善資金制度	(4) 省燃油対策	
2 融資保証保険…………… 148	4 冷凍設備…………… 172	
(1) 概況	5 漁業無線…………… 181	
(2) 56年度の事業	(1) 漁業用海岸局	
3 漁船保険…………… 149	(2) 漁船の船舶局	
(1) 普通保険	(3) 漁業用ラジオバイ	
(2) 特殊保険	6 漁船の施策…………… 182	
(3) 漁船船主責任保険		
		第3部 流通と貿易
		第1章 流通機構と市場
		1 中央卸売市場…………… 185
		(1) 概況
		(2) 市場業者の現況
		(3) 市場流通の問題点
		2 地方卸売市場…………… 188
		第2章 水産貿易
		1 輸出入の概況…………… 189
		2 輸出…………… 189
		(1) 57年の概況
		(2) 品目別の概況
		3 輸入…………… 193
		(1) 57年の概況
		(2) 品目別の概況
		(3) 調整措置
		第3章 需給と価格の概況
		1 需給の動向…………… 198
		(1) 供給の概要
		(2) 需要の動向
		2 家計消費の動向…………… 199
		(1) 深刻な消費低迷一概況
		(2) 都市の家計消費
		(3) 農村と都市との比較
		(4) 外食支出の増加
		(5) たん白食料の供給
		3 価格の動向…………… 202
		(1) 産地価格と水揚量
		(2) 消費地卸売価格
		第4章 主要商材の需給
		1 マグロ類(さし身用)… 204
		(1) 生産と輸入
		(2) 産地水揚と価格
		(3) 消費地入荷量と価格
		(4) 東京市場の価格推移
		(5) 在庫量
		2 カツオ…………… 208
		(1) 漁獲量
		(2) 産地水揚量と価格

目 次

(3) 消費地入荷量と価格	(2) 産地水揚と価格	(2) 生産量
(4) 在庫量	(3) 消費地入荷と価格	(3) 品目別生産量
(5) 輸出入	(4) 在庫量	2 水産缶詰…………… 248
3 ビンナガマグロ…………… 210	(5) 輸出	(1) 生産の動向
(1) 漁獲量	12 サバ類…………… 236	(2) 品目別の生産
(2) 産地水揚量	(1) 漁獲量	(3) 57年の概況
(3) 輸出入	(2) 産地水揚と価格	第6章 冷凍製品
(4) 在庫量	(3) 消費地入荷と価格	1 冷凍製品の概況…………… 250
4 冷凍エビ類…………… 212	(4) 在庫量	2 冷凍魚貝類…………… 250
(1) 漁獲量	(5) 輸出	(1) 生産の概況
(2) 輸入量	13 マアジ…………… 236	(2) 流通の実態
(3) 輸入価格	(1) 漁獲量	3 冷凍食品…………… 252
(4) 消費地入荷量と価格	(2) 輸入	(1) 生産の概況
(5) 高騰した価格	(3) 水揚量と価格	(2) 製造工場
(6) 在庫量	(4) 消費地入荷と価格	(3) 流通の状況
5 サケ・マス類…………… 223	(5) 在庫量	
(1) 生産と輸入	14 サンマ…………… 238	
(2) 消費地の入荷量と価格	(1) 漁獲量	
(3) 東京市場への入荷量と価格	(2) 産地水揚と価格	
(4) 在庫量	(3) 消費地入荷と価格	
6 スルメイカ…………… 226	(4) 在庫量	
(1) 漁獲量	(5) 輸出	
(2) 輸入	15 スジコ・イクラ…………… 240	
(3) 総供給量	(1) 国内生産量	
(4) 産地水揚量と価格	(2) 輸入	
(5) 消費地入荷量と価格	(3) 消費地入荷と価格	
(6) 在庫量	(4) 在庫量	
7 NZイカ…………… 229	(5) 輸出	
8 アカイカ…………… 229	16 タラコ…………… 241	
(1) 漁獲量	(1) 国内生産量	
(2) 価格	(2) 輸入量	
9 モンゴウイカ…………… 230	(3) 消費地入荷と価格	
(1) 漁獲量	(4) 在庫量	
(2) 輸入量	17 カズノコ…………… 243	
(3) 消費地入荷と価格	(1) 国内生産量	
(4) 在庫量	(2) 輸入量	
10 冷凍タコ…………… 231	(3) 消費地入荷と価格	
(1) 漁獲量	(4) 在庫量	
(2) 輸入量	18 冷凍スリ身…………… 244	
(3) 消費地入荷と価格	(1) 国内生産量	
(4) 在庫量	(2) 消費地入荷と価格	
11 マイワシ…………… 232	(3) 在庫量	
(1) 漁獲量	第5章 加工生産の概況	
	1 水産加工の概況…………… 246	
	(1) 水産加工場	

第4部 系統と会社団体

第1章 系統団体

1 漁業協同組合…………… 265
(1) 概況
(2) 沿海地区出資漁協
(3) 内水面出資漁協
(4) 業種別出資漁協
2 水産加工場…………… 268
3 連合会…………… 269
(1) 漁連
(2) 信漁連

第2章 各種中央団体

大日本水産会…………… 273
全国漁業協同組合連合会…………… 273
日本鯉鮪漁業協同組合連合会…………… 274
全国近海かつおまぐろ漁業協会…………… 274
日本トロール底魚協会…………… 274
日本鮭鱒漁業協同組合連合会…………… 274
全国鮭鱒流網漁業組合連合会…………… 275
全国底曳網漁業協同組合連合会…………… 275
日本遠洋底曳網漁業協会…………… 275
全国まき網漁業協会…………… 275